

アンテナバラン 組立部品セット DB-300-v2

50Ω 不平衡 : 300Ω 平衡 1.8MHz~30MHz

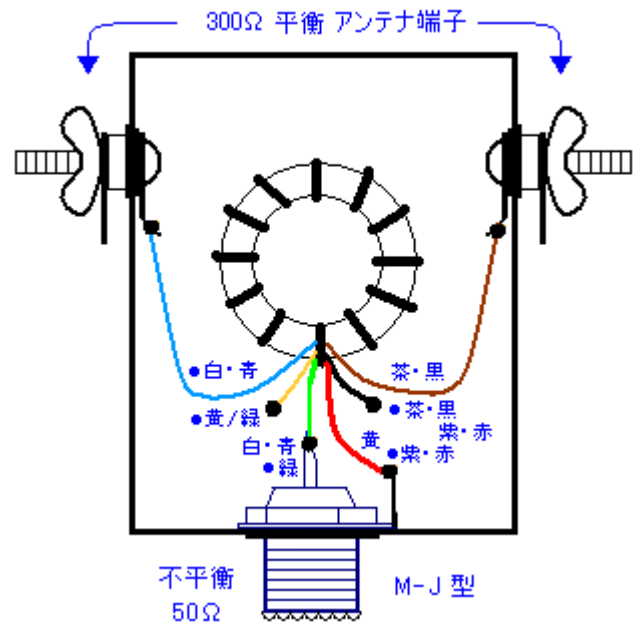
許容入力電力 : 連続 60W / CW SSB 130W

サイズ 50W × 75H × 30Dmm (突起物を除く) 重量 約 120g

||||| 50Ω : 300Ω (312.5Ω) バランの作り方 |||||

- 0.4mm 4P (8本組線) を、コアに、12回巻きます
- その被膜線の両端末とも、ペア3組を結線ねじり合わせます
- 巻き始めと、巻き終わり、端末配線の通り配線し、半田付けします (結線のジョイント2ヶ所はテープなどを巻いて絶縁しておく)
- プラボックスにボルトナット M-BR (M型座) を取り付ける
- 巻いて作ったコアを、構成図のように、ボックス内に収めて結線半田付けします
- 接着剤などで、端子等をかためて、フタをして完成です

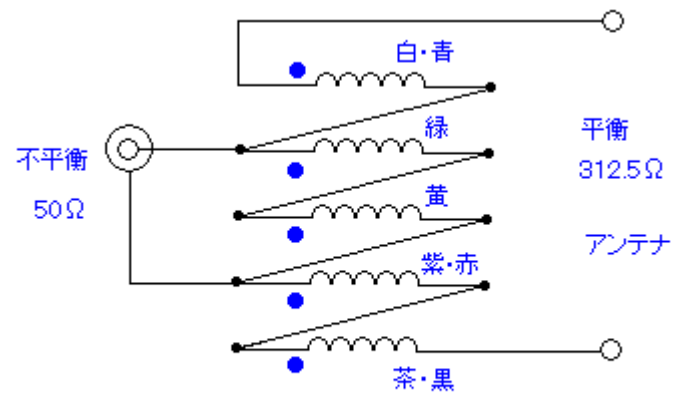
構成図



組立完成例

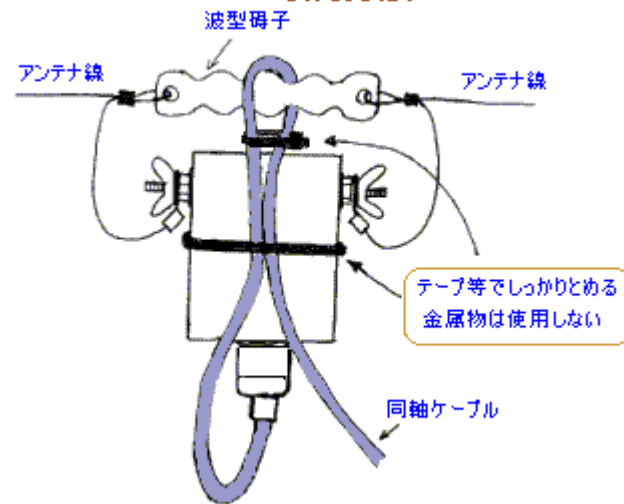


回路図



巻き数比 = 2 : 5
インピーダンス比 = 4 : 25 = 50Ω : 312.5Ω

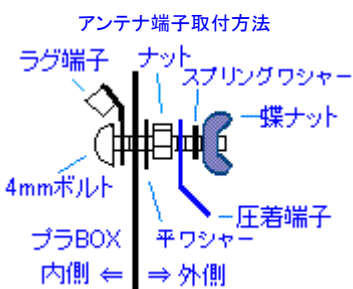
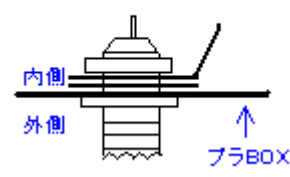
バラン取付方法



部品表

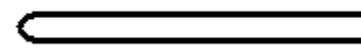
フェライトコア FT-82-43---1
0.4mm 4P被膜線-----40cm
M型接栓座 M-BR---1
ステンボルトナットワッシャー
蝶ナット、ラグ端子---2組
プラボックス---1
波型端子---1
結束バンド---2

同軸接栓座 MBR の取付方

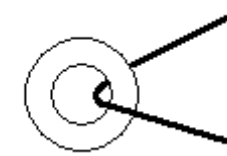


コアの巻き方

1. 0.4mm 4P被膜線 (8本組線) を半分ほどで折り返します



2. 4P被膜線 (8本組線) をコアに約半分の長さで通します

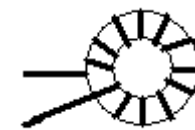


3. 半分の4P被膜線 (8本組線) を6回巻きます (コア内通過数)



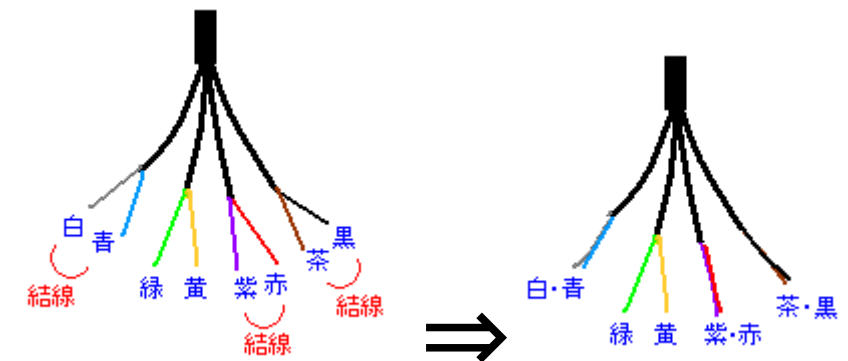
4. もう半分の4P被膜線を図のように同様に6回巻きます (コア内通過数)

合計12回巻きます



5. 端末処理

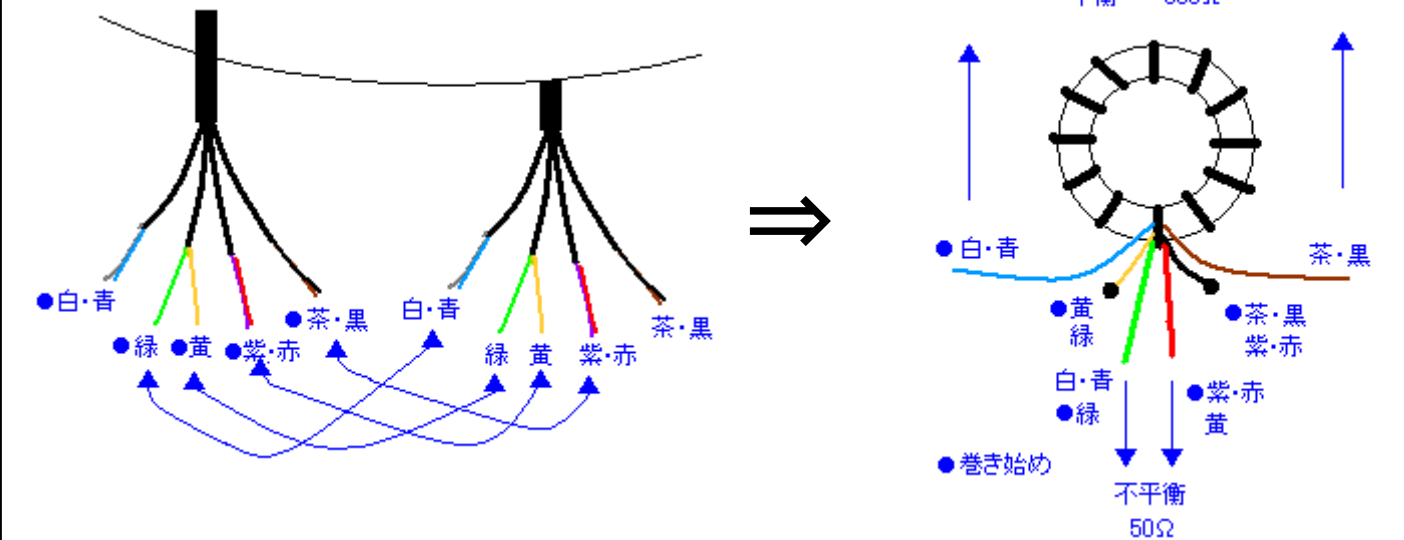
コアに巻いた4P被膜線の両端末とも、下記のように結線ねじり合わせます
白と青線 / 紫と赤線 / 茶と黒線を結線し、ねじり合わせます



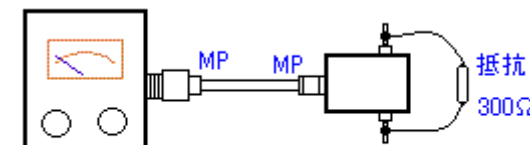
6. 端末配線

ねじり合わせた4P被膜線の両端末を、下図のように巻き始め、巻き終わりを、配線結線し、ねじり合わせます

結線ジョイント2ヶ所はテープなどを巻いて絶縁します (●黄・緑線と、●茶・黒/紫・赤線)



SWR測定方法



アンテナ SWR計
アナライザー など

バラン

抵抗は短く接続します (コアに直に接続した方が測定誤差は少ない)

コア完成例



有限会社 大進無線

〒410-0022 沼津市大岡 2223-14
TEL 055-925-4961 FAX 055-925-4962

URL <http://www.ddd-daishin.co.jp/>
E-mail info@ddd-daishin.co.jp